

宮崎県学校体育研究会のあゆみ

『沿革』

当初の研究会は、小・中・高等学校教育研究会の保健体育部会を母体として、県教育委員会の指導により活動が始められる。1960(昭和35)年各部会ごとの第1回県保健体育研究協議会が開催される。1964(昭和39)年学校数の増加に伴い会員が多くなり、県大会の規約が制定される。この年に本県で初めて九州地区学校体育研究発表大会が開催される。

年 度	あ ゆ み
1972(昭和47)年	組織的研究体制の充実を図るため、事業の計画立案と研究活動の分立等の共通理解が深まる。そして、県教育委員会依存の姿から、主体性を持って歩きだすことになる。事務局を県高等学校体育連盟の中に位置づける。
1973(昭和48)年	各部会ごとの研究協議会を1つにまとめ、宮崎県学校体育研究発表大会として開催する。
1976(昭和51)年	会員を一同に集め、小・中・高等学校における公開授業(系統的授業)が発表される。
1981(昭和56)年	第20回九州地区学校体育研究発表大会が本県で開催され、「系統的授業」を発表し、堅実な実績が大きな賛辞を得る。
1984(昭和59)年	第23回全国学校体育研究大会特殊教育部会において、研究発表の機会を得る。
1985(昭和60)年	県学校体育研究会特殊教育部会が発足する。
1987(昭和62)年	第28回県学校体育研究発表大会から、「系統的授業」(同一種目での授業)が見直され、「つながりのある学習」(種目を変えての授業)として発表される。
1990(平成2)年	県高等学校体育連盟から独立し、小・中・高等学校持ち回りの事務局として設置される。
1996(平成8)年	5回目の第35回九州地区学校体育研究発表大会を開催する。
2001(平成13)年	本県で第40回全国学校体育研究大会が開催される。
2003(平成15)年	事務局を県高等学校体育連盟に設置する。
2012(平成24)年	本県で第51回九州地区学校体育研究発表大会が開催される。
2020(令和2)年	本県で第59回九州地区学校体育研究発表大会が開催される。

研究会の構成組織

- 県小学校教育研究会保健体育部会(県小体連)
- 県中学校教育研究会保健体育部会(県中体連)
- 県高等学校教育研究会保健体育部会(県高体連)
- 県特別支援学校教育研究会保健体育代表者部会

研究の事業内容

- 県学校体育研究協議会 …… 1960(昭和35)年(1回)~1972(昭和47)年(13回)
- 県学校体育研究発表大会 …… 1973(昭和48)年(14回)~現在に至る